

南極半島とサウスシェトランド諸島 17日間

2010年11月27日～12月13日

報告者 田中 譲

旅の準備は、まず南極クルーザーの予約。予約が取れたらすぐに予約金の支払い。・・・予約金はキャンセルしても返金されないというのでちょっとリスクがありました。そして、たくさんの書類作成・航空券や経由地の手配など、やはり簡単に行ける所じゃなかも。

結局、半年以上時間を掛けていよいよ。・・・どんな体験ができるのでしょうか？不安と期待の出発です。

11月27日(土) 千歳から成田を経由して、アメリカ・テキサス州のヒューストンへ。・・・ここまで乗り継ぎ時間も含め約15時間。そして、ヒューストンで7時間待ち、再びアルゼンチンに向け出発です。

11月28日(日) 現地時間の10:20アルゼンチンの首都・ブエノスアイレスに到着。更に5時間待ち国内線でやっと世界最南端の町・ウスワイアに20:20着。結局、千歳からの所要時間は乗継ぎ時間も含め、なんと43時間10分。・・・こんな遠くまで来たのは初めて。ウスワイアの町の経度は南緯54度48分、まだ明るい。人口は6.4万人とか。



11月29日(月) ホテル向かいの山にはうっすらと新雪が。朝からタクシーをチャーターしてウスワイアの観光に。世界最南端の公園“ティエラ・デル・フエゴ国立公園”と世界最南端の鉄道“世界の果ての鉄道”、そしてマルティアル氷河。夕食は、名物の花咲ガニみたいなカニをいただきましたが、やっぱりカニを食べるなら北海道かな！？



11月30日(火)

クルーズ船は16時の出航予定。せっかくなのでウスワイア観光の続き。マルティアル氷河の麓でキャンピー体験(木々にワイヤーを張り滑り下りる。ターザン気分でした。楽しかった。)その後、市内を散策して、いよいよ乗船です。



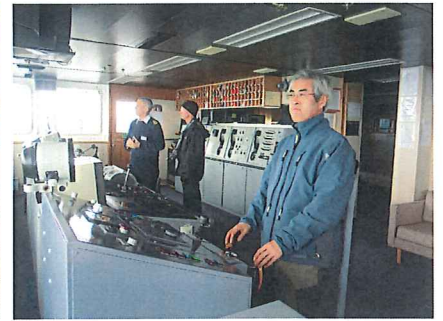
乗船したら、船員とクルーズスタッフの紹介。そして、緊急時の諸説明と避難訓練。・・・その後、波の全くないビーグル水路をドレーク海峡を目指し出航です。夕食は、毎日19～20時の頃。フルコースのフランス料理ですが、どうも料理の出る時間が長くてせっかちな私にはどうも馴染めない。・・・マァー、仕方ないか。



ちなみに、ビール・ワインは4\$。キャビン番号とサインをして下船時、カードか\$現金で精算することになります。ちょっと、キャビン(船室)の説明。私のキャビンは、3名相部屋でしたが2名で利用。相棒は、ニューヨークで高校教師をしている40歳位の独身のジョージ。なかなか良い男で安心しました。
* ベッドは、2段ベッドとソファーベッド。その他キャビン内の設備として、箆箆(結構収容出来る)、机と椅子、洗面台。(シャワー付の客室もありますが)・・・広さは6畳程度かな。



12月1日(水) 夜半より船は世界で最も荒れる海域と言われる“ドレーク海峡”を航海中のはずですが、予想に反してそれほど揺れませんでした。航海中の船内では、午前・午後各1時間程度“南極の海鳥”“南極のペンギン”“南極探検の歴史”“南極の地質”などの講義が行われます。それ以外の時間は、サロンでのんびりしたり、デッキに出て展望を楽しんだり、サウナに入ったり、操舵室に遊びに行ったりしてつろいでいます。



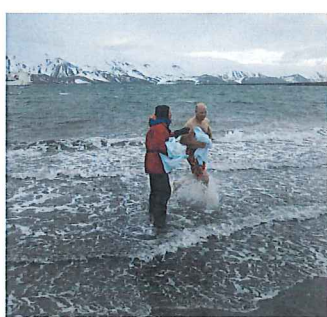
12月2日(木) 夕刻、ドレーク海峡を通過してサウスシェトランド諸島着。結局、そんなに揺れずにすみました。いよいよ上陸準備。・・・絶対大陸に雑菌を持たないように掃除機でザックのゴミを吸出し隔々をチェックされます。防寒靴は船内に用意されて、乗降時は靴底を消毒液で洗います。最後に、乗降口横のボードの自分の番号が決められた札を裏返し“ゾディアック”と呼ばれる上陸用ボートに乗り込みます。21:00~22:30 ゾディアックに乗りサウスシェトランド諸島のグリニッジ島ヤンキー湾に上陸。(日没は23時です。) ジェンツーペンギンがウヨウヨしてアザラシがだらしなく横たわっていました。気温は、意外と高く5℃でした。



12月3日(金) 晴れました。そして、サウスシエトランド諸島域に入るとほとんど揺れません。午前、ハネムーン島に上陸。この島ジェンツーペンギンがウヨウヨもしていましたが、アゴヒゲペンギンもみかけました。ところで、ペンギンの5m以内に近づいてはいけない事になっているのですが、好奇心旺盛なペンギンたちが勝手に寄ってくるのです。



午後、デセプション島に上陸。この島には、ノルウェーの鯨油基地跡がありました。そして、南極で唯一温泉が湧き出しているとか!? “世界最南端の温泉”に浸かろうと楽しみにしていましたが、冷たく入れたもんじゃない。数名のクレイジーが、やけになって海に飛びこんでいました。…ペンギンも呆れていたみたい。

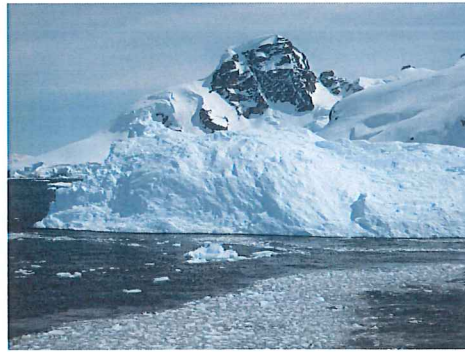
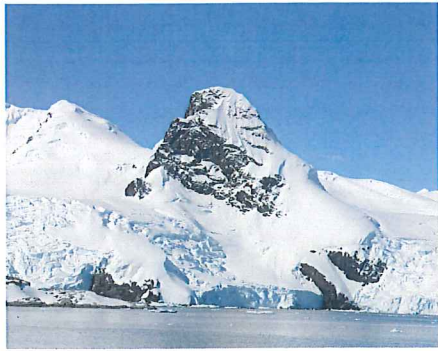


12月4日(土) 夜間航海で南極半島のトリニティ島沿岸に停泊していたようです。午前中、トリニティ島上陸。ペンギンいっぱい。おだやかな海面と氷山が美しい。午後は、南極半島のシエルパ岬沖をゾディアックにてクルージング。青く澄み切った彫刻のような氷山を交わし、氷河まで迫る素晴らしい最高のクルージングを楽しみました。快晴でポカポカ陽気。きっと気温は10℃以上!? 更に紫外線が強烈で顔面が日焼けして、その夜は顔が熱り大変でした。…日焼け止めとサングラスは、必需品です。





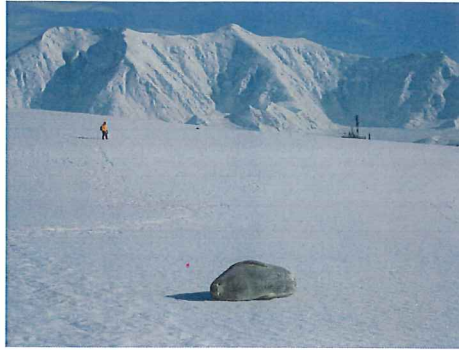
12月5日(日) 今日も快晴でポカポカ。昼間はポロシャツでOKって感じ。顔もう日焼けで腫れ上がってしまいました。午前、ペンギンいっぱいのでキーヴェヴィル島上陸。午後、アンドベール湾内のネコ海岸をクルージング。



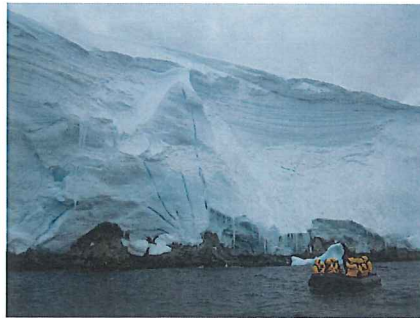
12月6日(月) 午前中、パラダイス湾に上陸予定でしたが時間がなく船上から観光。360°の氷河、素晴らしかった。午後は、ポートロックロイに上陸。ここにはイギリスの元観測所があり、現在は博物館になっています。おみやげ店も併設され絵ハガキを出しましたが、噂によると日本着は6ヶ月後とか？・・・本当かな！？そして、パスポートに南極大陸上陸のスタンプが押されます。夕食はデッキでバーベキューパーティー。とても寒かったので早々に退散しましたが、外国人は“クレージーハット”と言って工夫を凝らした帽子をかぶるコンテストをして騒いでいました。
*ところで、この付近がクルーズの最南点。南緯、約62度。日の出時間 2:36、日没は 23:26 でした。



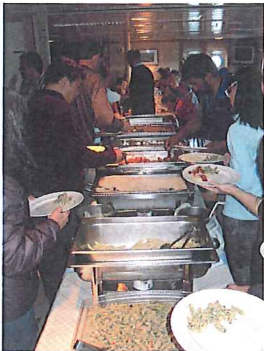
12月7日(火) また、晴れ。午前中、ポートロックロイ付近に上陸しましたが、地点名は不明。
お昼、クルーザーに戻り希望者による“南極海での水泳タイム”。…ちょっと冷たそうなので止めました。ハイ！



午後から波は高くなってきました。
ノイマイヤー海峡をゾディアックにてクルー
ジング。波が高くしぶきを浴び大変なク
ルーズだったが本来の南極の荒々しさを
体験しました。
その後、ウスワイアに向けドレーク海峡
に突入です。



12月8日(水) 終日、ドレーク海峡を航
海。雨と強風の中、昨日の午後から高波
は変わらず。…本来の姿をやっと見せたようです。揺れる船内で、また講義。…内容は忘れてしまいました。
下記の写真は左から。朝食&昼食のバイキング風景。ショップもあり主に防寒用衣類・バッジなどが販売され支払い
はクレジット精算になります。船内観光もあり、通信レーダー室やエンジン室などを回ります。



12月9日(木) 終日、イルカが併走しドレーク海峡を航海。夕食は、船長主催“お別れパーティ”で盛り上がりました。



12月10日(金) 午前、ウスワイアに帰航。送迎バスにて空港へ。後、空路ブエノスア
イレスへ。夜は、老舗“エル・ヴィエホ・アマルセン”にてアルゼンチンタンゴ鑑賞。
12月11日(土) 夕方までブエノスアイレスの市内観光。後、空路ヒューストンへ。
12月12日(日) ヒューストンにて再び国際線に乗り継ぎ、空路成田へ。
12月13日(月) 着後、国内線に乗り継ぎ、空路千歳へ。

…やはり、帰りも遠かったのです。お疲れ様でした。



南極の魅力って何!?

真っ青な大氷河と冰山。愛らしいペンギン。…そして、やっぱり遠い事かな!